



病院長紹介 P1

病院長就任のご挨拶

新任役職紹介 P2

特集 P3

不妊治療の現状と未来

知っ得! 納得! Q&A P4

ワクチンってなに?

診療科・部門紹介 P5

*小児外科・移植外科 *医療技術部

看護部だより P6

精神看護専門 看護師の活動

総合案内 裏表紙

ご自由にお取りください

2021年 春号

熊本大学病院

- 【理念】** 本院は、高度な医療安全管理によって、患者本位の医療を実践し、医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する。
- 【方針】** ・高度な医療安全管理体制による安全安心で質の高い医療サービスの提供
・患者の希望、期待、要求を尊重する医療の実践
・先進医療の開発・推進と優れた医療人の育成
・地域社会に貢献できる医療・防災の拠点形成
- 【患者さんの権利】** ・個人の尊厳と意向が尊重されます。
・良質な医療を公平に受ける権利があります。
・十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
・ご自分の意思で医療を選ぶことができます。
・ご自分の病状や治療方針について、他の医療機関の医師に意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
・小児や高齢の方、意思を表出しづらい方も、適した方法でコミュニケーションが図られます。
・プライバシーや個人情報保護が確保されます。
- 【患者さんの責務】** ・ご自分の健康状態について正確に伝えてください。
・治療に積極的に参画してください。
・社会のルール、本院の規則を守ってください。
・迷惑行為を行わないでください。
・医療費を滞滞なく支払ってください。



病院敷地内全面禁煙のお知らせ

皆様のご理解とご協力をお願いします。

熊本大学病院の建物内、敷地内(含む中庭、駐車場)および病院周辺の道路は全面禁煙です。喫煙を確認した場合は、来院者には退去勧告、入院患者さまには退院や転院を勧告いたします。禁煙へのご理解とご協力をお願いいたします。

ご寄附のお願い

熊本大学病院では、若手医師をはじめとした医療人の教育・学術研究の支援並びに医療機器等の整備、大学病院の管理運営等に資するため、企業や個人の皆様の篤志に基づいて寄附金を受け入れております。またご寄附をいただいた場合、税制上の優遇措置を受けることができます。詳細は熊本大学病院ホームページでご覧いただけます。
<https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/kuh/kifu.html>



スマホ・携帯電話の方はこちらから

【お問合せ】
熊本大学医薬保健学系事務課医学事務チーム研究支援担当 TEL096-373-5658

全職員がONE TEAMとなり
病に苦しむ患者さんに
最高の医療と安心を提供できる
病院を目指します



本年4月より病院長就任

本年4月より病院長に就任いたしましたので、ご挨拶申し上げます。私は2005年4月に消化器外科教授として赴任して以来16年にわたり、主に消化器がんの診断・治療に携わって参りました。大学病院は常に地域医療の中で最後の砦としての役割を担っていることを認識し、病に苦しむ患者さん達の心に寄り添いながら、少しでも心身ともに元気になって早く社会復帰していただくために、安全かつ最良の医療を提供できるよう日夜診療に従事して参りました。この間、約8年間にわたり、副病院長として、診療・経営、教育、地域連携などの業務を担当し、病院の運営にも携わって参りました。

熊本大学病院の「理念」

熊本大学病院の理念は「高度な医療安全管理によって、患者本位の医療を実践し、医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する」となっています。患者・家族の皆様方の声に真摯に耳を傾け、高度な医療安全管理体制の下、先進的な医療に取り組み、地域住民の皆様方の福祉と健康に貢献できますように、これからも全職員が一丸となって取り組んで参る所存です。

また、大学病院の使命の一つとして医療人の教育があります。次代を担う優れた医療人を育て輩出し、熊本県内全域にわたり地域医療を守り更に

発展させるため、常に行政・医師会・県内の各医療機関とも有機的に連携し協力して参ります。

更に、現在はまだ診断や治療が困難な病態に関する研究にも力を入れ、新しい診断・治療法を開発し、医学・医療の発展に寄与し、国内外に新しい情報を発信していきたいと考えております。



【写真】熊本大学病院

患者様とそのご家族の 思いに応える

熊本は2016年の熊本地震、そして復興のさなかにかつ起こった昨年の豪雨水害や、新型コロナウイルス感染症の蔓延で、経済は冷え込み、なかなか先の見えない不安な状況が続いています。そのような状況下ではありますが、病に侵され心身ともに辛い思いをされている患者様とそのご家族の思いに応えるべく誠心誠意、最良の医療が届けられるように努力して参ります。



画像診断・治療科 教授
平井 俊 範

2020年9月1日付けで、放射線診断学講座教授、画像診断・治療科長を拝命しました平井俊範です。

私は熊本県熊本市出身で、1989年熊本大学を卒業後、放射線科を専攻し、CT、MRIを用いた画像診断、核医学、インターベンショナルラジオロジー(IVR)を学び、放射線診断専門医、IVR専門医を取得しました。その後大学院を経て、米国ハーバード大学関連のマサチューセッツ総合病院に留学し、2015年に宮崎大学放射線医学教室の教授となり、2020年に母校に戻って参りました。

当教室は最先端のCT、MRI、SPECT、PET装置を駆使して高度な画像診断を行っております。また、IVRにおいても本邦で屈指の症例数で、非常に高度な技術で診療しています。いずれの領域でもトップレベルの診療・研究の業績を上げています。医療における画像診断とIVRの重要性は近年、加速的に増していますが、私たちは病院の中央部門として各診療科と横断的に関わり、コミュニケーションをとりながら最善の医療を提供するよう努力して参ります。今後どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



皮膚科、形成・再建科 教授
福島 聡

2021年2月1日付で皮膚科、形成・再建科の教授に就任致しました。

私は熊本生まれ、熊本育ち、熊本大学を卒業しました。そして熊本大学皮膚科、形成・再建科で研鑽を積んでまいりました。こう書きますと熊本から一步も出ていないようですが、その分全国の大学の皮膚科、あるいは基礎研究室、海外の研究者と積極的に共同研究を行ってきました。専門は皮膚悪性腫瘍、特に悪性黒色腫に対する免疫療法とアトピー性皮膚炎です。今後も最先端の医療を患者さんに提供すると共に、新規治療や診断法を開発し熊本から世界に発信していきたいと考えています。

熊本県の皮膚科医療圏においては、

基幹病院はすべて当科の同門の先生が部長として地域医療を守っています。またクリニックの先生も大半が同門の先輩方であり、密な病診連携が可能です。特に皮膚悪性腫瘍や強皮症を始めとした膠原病等は集学的治療が必要です。今後も当科が難治性皮膚疾患の県内最後の砦として、しっかりと診療を行って参ります。

また熊本県はニーズに比べて形成外科専門医の数がとても少ない現状がありますので、その育成にも力を入れています。皮膚科と形成外科を必要とする患者さんの心に寄り添い、最先端の医療を提供する人材を育てて参ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ボランティア活動員募集

●活動時間

月曜日～金曜日(休日を除く)8:30～17:00
※回数、時間をご相談に応じます。
(週1回、2～3時間の活動でも可能です。)

●ボランティア内容

外来でのお世話、受診手続きの説明等、診療科等への案内、車椅子の手配と介助、幼児のお世話、通訳、手話通訳、視聴覚障害者への受診付添、自動再来受付機等の操作案内など



スマホ・携帯電話
の方はこちらから

【お問合せ】熊本大学病院 医療サービス課外来担当 TEL096-373-5557

(<https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/kuh/volunteer.html>)

不妊治療の現状と未来

【監修】 熊本大学病院 産科・婦人科 大場 隆 准教授

不妊症最大の原因は「加齢」

今年の1月から不妊治療への助成額が現在の1回目30万円、2回目以降15万円から2回目以降も30万円に引き上げられました。さらに助成の回数や所得制限が緩和・撤廃され、2022年4月には保険適用が計画されています。

不妊症とは、妊娠を希望する生殖年齢の男女が1年経過しても妊娠に至らない状態で、その頻度は約10%とされます。不妊症の原因は様々ですが、男女双方にとって妊娠できる能力、すなわち妊孕(にんよう)力が低下する最大の原因は加齢です。加齢は配偶子(卵子や精子)の”質”に影響を及ぼします。

配偶子不足を解決する治療は、限界に達している

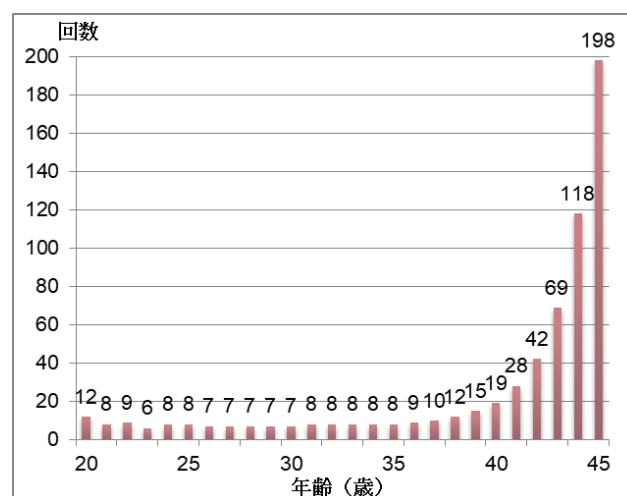
これまでの不妊治療は、卵子については排卵誘発、精子では人工授精や体外受精など、主として配偶子の数の不足を解決しようとする治療でした。1組の卵子と精子があれば妊娠出産が可能となる顕微授精法が広く普及した現代では配偶子の不足に対する治療はほぼ限界に達しています。配偶子の質を改善しようとするさまざまな研究が行われていますが、ヒトの配偶子を操作することには倫理的な課題が山積しています。

日本女性の第一子出産時の平均年齢は「30.7歳」

女性のキャリアアップが可能となった社会では晩婚化、晩産化が進む傾向にあり、日本でも第一

子出産時の女性の平均年齢は30.7歳に達しています。日本は世界でもっとも多く生殖補助技術(ART)が行われている国ですが、ARTの成功率は先進国の中で最低であり、これはARTを受け始める年齢が他の国々より高齢だからと考えられています。不妊症に対するもっとも有効な方策のひとつは、女性が若いうちに妊娠出産できる社会をつくることです。

女性の自立と出産育児が両立できる社会は理想的ですが、世の中はそう簡単ではありません。子どもを持つのを先送りする人生もあり、だと思えます。しかしそれは若いうちに高齢妊娠・出産の難しさを知った上で自己決定されるべきことです。日本産科婦人科学会、熊本産科婦人科学会では若い男女にこのことを知ってもらうための取り組みを続けています。



【生児獲得までに必要な体外受精・胚移植の回数(推定値)】

日本産科婦人科学会の2011年ART成績報告による生産率をもとに、80%の確率で1人以上の生児を獲得するのに必要な体外受精・胚移植の施行回数を推定した



「ワクチンってなに？」

新型コロナウイルスワクチン接種に関するニュースが連日報道されるようになり、皆さんのワクチンについての感心が高まっていることでしょう。そこで、新型コロナウイルスワクチンのことも含め、ワクチンの基本的なことについてご紹介します。

Q ワクチンって そもそもなんですか?

私たちがウイルスや細菌などの病原体によって感染症にかかると、体の中で病原体を排除する物質(抗体など)が作られ、症状が軽くなっていきます。また、同じ病原体が再度外から侵入すると、すぐに抗体が病原体を攻撃する仕組みができます。この仕組みを「免疫」といいます。そして免疫を利用したのが「ワクチン」です。ワクチンを接種することにより、あらかじめウイルスや細菌などの病原体に対する免疫を作り出し、病原体に対する抵抗力を上げて、感染を予防したり、症状がひどくならないようにしたりします。

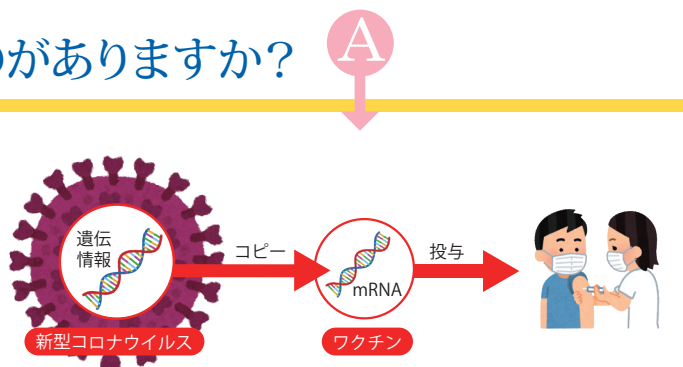
Q ワクチンって 危険じゃないんですか?

ワクチンは安全性を確認して作成されていますが、全く危険がない訳ではありません。「生ワクチン」は弱毒化した病原体なので、感染したような症状が出ることもあります。その他のワクチンには感染性はありませんが、体内に異物を入れるため、発熱などの免疫反応や、非常にまれですがアナフィラキシーなどの重症のアレルギー反応がおこることもあります。新型コロナウイルスワクチンでも同様の副作用が海外で報告されています。重症な副作用を見逃さないためにも、ワクチン接種後に15~30分程度の体調観察が重要です。

Q ワクチンの種類にはどんなものがありますか?

ワクチンは弱毒化した病原体自体、あるいは人工的に作った病原体の一部を抗原として使用しています。従来は病原体を弱毒化した「生ワクチン」(麻疹・風疹ワクチンなど)と感染性をなくした病原体や病原体の一部を投与する「不活化ワクチン」(インフルエンザワクチンなど)の2種類がありました。最近では、新型コロナウイルスワクチンに、遺伝情報を投与し作られた新しい種類のワクチン「mRNAワクチン」などもあります。

「mRNAワクチン」の仕組み



① 病原体の一部分を作るための遺伝情報をワクチンとして投与



② 遺伝情報により体内で作られた病原体の一部が抗原となり抗体ができる

小児外科・移植外科



小児外科としては、鼠径ヘルニアや陰嚢水腫、急性虫垂炎などの一般手術はもちろん、NICU(新生児集中治療室)と連携して食道閉鎖や横隔膜ヘルニア、壊死性腸炎、腹壁破裂などの新生児外科、発足当初より注力してきた胆道閉鎖症や胆道拡張症などの小児肝胆道疾患をはじめ、胸部・消化器・泌尿生殖器・体

表(脳と心臓を除く)とあらゆる診療を行っており、病態にあわせて腹腔鏡などの低侵襲手術にも積極的に取り組んでおります。

移植外科としては、生体・脳死肝移植を通算500例以上実施した国内トップ5施設のひとつです。長期の治療成績も良好で、日本の肝移植の指導的役割を果たしております。成人では熊本県内の肝疾患診療を司る消化器内科との連携で近年急増しているアルコール性や非アルコール性脂肪肝炎(NASH)、ウイルス性肝炎、原発性胆汁性胆管炎などによる非代償性肝硬変、肝細胞癌などの治療、小児では胆道閉鎖症や肝芽腫、小児科と連携し様々な代謝性疾患などに対する肝移植を行っており、腸管不全に対する小腸移植の実施体制も整えております。

患者さんの命と常に対峙し、どんなに困難な状況におかれても必ず未来を拓くべく、研鑽を重ねてまいります。

医療技術部 (臨床検査技術部門、診療放射線技術部門、リハビリテーション技術部門、病理技術部門、ME機器技術部門、輸血管理部門)



▲ 中央診療棟

医療技術部は6部門の専門職種からなる160名を超えるスタッフで構成された横断的な集まりで、中央診療棟にあります。医療技術部の各部門共通の役割は、診療支援を大きな業務としており、24時間体制で各診療科の日常業務から救急医療および先進医療に寄与すべく業務を行っています。

臨床検査技術部門は刻々と変化する生体情報を迅速で正確に報告しています。診療放射線技術部門は不可欠な画像情報を鮮明に提供しています。リハビリテーション技術部門は、社会復帰に向けた身体的機能を向上すべく日々取り組んでいます。病理技術部門では確定診断となる病理診断、迅速診断の標本作成業務、早期診断および経過観察にも有用な細胞判別を行っています。ME機器技術部門の臨床工学技士の方々は、高度医療機器の運用に寄与しています。輸血管理部門では生命の保持に不可欠な輸血業務を中心とした細胞療法に係わる業務を行っています。

また医療技術部の共通行事として、夏休み子供見学デーや研修などを行うことで連携を図り、一丸となって診療支援に取り組んでいます。



精神看護専門看護師の活動

精神看護専門看護師による精神的ケア

「精神看護専門看護師」は、精神看護の専門的な知識・技術を活用し、すべての診療科の患者様を対象として、精神面へのケアや医療者からの相談対応、チーム医療における調整、スタッフ教育などの役割を担っています。

病気になると、誰でも多かれ少なかれ不安やストレスを抱えます。多くの場合は自分自身の回復力や周囲からの支援を得ながらこの状況乗り越えていきます。しかしあまりにも不安やストレスが大きかったり予想外に治療が長引いたりすると、精神的に不安定な状態に陥ることもあります。このような場合に、患者様もしくはは直接ケアに当たっている医療者からの相談を受けて対応します。認知症・精神疾患のある患者様が身体疾患の治療のために入院された場合には、どのようにすれば安心して安全に治療を受けることができるのか、入院病棟の医師・看護師と検討しています。

また「精神看護専門看護師」は、「精神科リエゾンチーム」の一員としても活動しています。



「精神科リエゾンチーム」とは

「リエゾン」とはフランス語で「つなぐ」や「連携」を意味する言葉です。「精神科リエゾン」は身体への医療と精神への医療をつなぎ、患者様への包括的な医療を目指すものです。

「精神科リエゾンチーム」は精神科医師・精神看護専門看護師・公認心理士・精神保健福祉士などの多職種で構成されています。せん妄(一時的な混乱状態)、抑うつ、不眠などの身体疾患に伴うさまざまな精神症状を有する患者様に対して、それぞれの専門性を活かしたチーム医療を行っています。



【写真】リエゾンチームカンファレンスの様子

コロナ禍での取り組み

現在(令和3年3月時点)、当院は新型コロナウイルス感染症対策として面会を原則禁止にさせて頂いております。

患者様は疾患や治療に対する不安や慣れない入院生活における心細さを感じておられると思いますし、ご家族も患者様の病状を案じておられると思います。そのような状況において、患者様やご家族の不安を少しでも和らげるように、これからも取り組んでいきます。

総合案内

- ① 受付時間 初診 8:30~11:00 / 再診 8:30(再来受付機 8:15)~16:00 ※再診受付開始は、当日最初の診察・検査の予約時間の1時間前からです。
- ② 予約受付時間 8:30 ~ 17:15
- ③ 診療時間 8:30 ~ 17:15
- ④ 休診日 土曜、日曜、祝日、振替休日および年末年始(12月29日 ~ 1月3日)
- ⑤ 診察日 ◎印(外来診療日参照)の日は初診も再診も行なっております。
- ⑥ 通常の診療以外に次の相談、検診を行なっております。
 - 禁煙外来(呼吸器内科)
 - セカンドオピニオン(全診療科)
 - 乳がん検診(乳腺・内分泌外科) ※現在休止中
 - 検査カフェ(中央検査部)
 - 脳ドック(脳神経外科)
 - 不妊相談(産科)

外来診療日

※2021.03.01 現在

- 診療日一覧(初診・再診=◎、初診=初、再診=再、特殊再診=特再、不妊外来=不外、休診日=休)
- 全診療科完全予約制、初診は紹介状が必要です。
- 脳神経外科の初診はCTもしくはMRIのCD-ROMも必要となります。
- 再診受付開始は、当日最初の診察・検査の予約時間の1時間前からです。

		診療科名	月	火	水	木	金	
外来診療棟	1階	A 循環器内科	◎	◎	◎	◎	◎	
		心血管外科	休	◎	休	◎	休	
		総合診療科	◎	◎	◎	◎	◎	
	B	脳神経内科	◎	◎	◎	◎	◎	
		整形外科	再	◎	休	◎	◎	
		脳神経外科	◎	休	◎	休	◎	
		麻酔科・緩和ケア	◎	休	◎	◎	◎	
	C	小児外科・移植外科	◎	休	◎	◎	◎	
		小児科	◎	◎	◎	◎	◎	
	2階	D	糖尿病・代謝・内分泌内科	◎	◎	◎	◎	◎
			乳腺・内分泌外科	◎	◎	◎	◎	休
			病理診断科	休	休	休	休	◎
		E	血液内科	◎	再	◎	◎	◎
			膠原病内科	◎	休	再	再	◎
腎臓内科			◎	◎	◎	◎	◎	
F		呼吸器内科	◎	◎	◎	再	◎	
		消化器内科	◎	◎	◎	◎	◎	
		呼吸器外科	休	◎	休	◎	◎	
		消化器外科	◎	◎	◎	◎	◎	
G		皮膚科	◎	再	◎	◎	◎	
		形成・再建科	休	休	◎	◎	休	
3階	H 歯科口腔外科	◎	◎	◎	◎	◎		
	I 眼科	◎	◎	休	◎	特再		
	J 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	◎	休	◎	休	◎		
	K 婦人科	産科	◎	不外	◎	不外	◎	
		産科	◎	休	◎	◎	◎	
	L 泌尿器科	休	◎	休	◎	◎		
4 M	画像診断・治療科	◎	休	◎	休	◎		
	神経精神科	休	◎	◎	◎	◎		
中央診療棟	B1階	放射線治療科	◎	◎	◎	◎	◎	
	2階	リハビリテーション科	休	◎	休	◎	◎	

院内案内



病棟案内

【西病棟】	【東病棟】
耳鼻咽喉科・頭頸部外科、血液内科、膠原病内科	12F 院内学級、多目的室、患者図書室
血液内科、膠原病内科	11F 呼吸器内科、呼吸器外科、感染症病棟
泌尿器科、皮膚科、形成・再建科	10F 歯科口腔外科、泌尿器科
脳神経内科、糖尿病・代謝・内分泌内科	9F 眼科、糖尿病病棟、救急部
小児科、総合周産期母子医療センター(NICU、GCU)	8F 小児外科・移植外科、呼吸器外科、小児科、緩和ケア病棟
総合周産期母子医療センター(産科、MFICU)	7F 婦人科、乳腺・内分泌外科
ICU、血液浄化療法部	6F 心臓血管外科、HCU
脳神経外科、画像診断・治療科、SCU	5F 循環器内科、CCU
消化器外科、腎臓内科	4F 消化器外科
R1	3F 消化器内科
神経精神科	2F 整形外科、救急部
栄養相談室、防災センター	1F 薬剤部、売店、美容室



交通案内

- 『熊本駅』からバスに乗り、『大学病院前』下車
JR熊本駅 所要時間約10分 → 熊本大学病院
- 『桜町バスターミナル』からバスに乗り、『大学病院前』下車
桜町バスターミナル 所要時間約10分 → 熊本大学病院
- 『阿蘇くまもと空港』からリムジンバスに乗り、『桜町バスターミナル』下車
『桜町バスターミナル』からバスに乗り、『大学病院前』下車 所要時間約70分
- 九州自動車道 熊本インター出口
国道57号線を熊本駅方面(産業道路)へ右折 所要時間約30分

熊本病院は高度医療を提供する「特定機能病院」として厚生労働省から認証を受けています。地域医療機関との連携を図るため、原則としてかかりつけ医(他の医療機関)の紹介状が必要です。円滑な診療のために紹介状をご持参ください。紹介状がない場合でも受診できますが、初診の際に「保険外併用療養費(選定療費)」として5,500円(自費、令和元年10月現在)をご負担いただきます。

※予約について、お尋ねになりたい場合は、下記にご連絡ください。

外来予約センター TEL 096-373-5973

新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じて、掲載内容に変更が生じる可能性があります。
最新情報は熊本病院HPをご確認下さい

熊本大学病院

〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号
TEL (096) 344-2111(代) FAX (096) 373-5906
<https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/>